

平成28年度授業改善推進プラン

教科 [保健体育] 科

学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲は満足できる状況ではあるが、集中力を身につけさせることが必要。 ・思考・判断は今後の課題。 ・自ら課題を見つけ出す力を身につけることが授業改善の一つと考える。 ・技能についてはよく努力している。 ・知識の理解力は個人差があるので定着に時間が必要。 ・学習カードの工夫・改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度は満足できる状況。 ・思考・判断は今後の課題。 ・自ら課題を見つけ出す力を身につけることが授業改善の一つと考える。 ・技能についてはよく努力するので問題ない。 ・知識理解はよく理解し、学習するので問題ない。 ・学習カードの工夫・改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度は満足できる状況。 ・思考・判断は今後の課題。 ・自ら課題を見つけ出す力を身につけることが授業改善の一つと考える。 ・技能については基礎基本を繰り返し行い、定着を図る。 ・知識理解はよく理解し、学習するので問題ない。



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
一年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力作りのための効果的な学習内容の構築と反復・継続指導 ・一斉、グループ指導の導入とその指導方法 ・能力に応じた個の指導 ・学習カードの工夫・改善 保健 ・教科書を読む習慣、集中して話を聞くことを身につける。正しい知識を身につける。 体育理論 ・スポーツの必要性和楽しみ方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上を図るため体力の全ての要素を組み合わせた運動を毎時間5分程度行う。 ・一斉指導を主にしながら種目に応じてグループ学習を行う。その中で個の力を伸ばし、協調性を養わせる。 ・自己評価や相互評価を生かして自己肯定感を育て、意欲的な態度へとつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に体力が落ちないように、自主的な運動を促す。 ・個人の課題解決の取り組みについての指導。 声かけや課題の設定 ・生徒の能力に応じた指導。 ・からだの発育・発達の理解。 ・自分のライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方についてデザインできる能力を育てる。
二年	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性・敏捷性・持久力を向上させる為の効果的な学習方法の構築と反復・継続指導 ・一斉、グループ指導の導入とその指導方法 ・仲間との関わりから技能を学ぶ方法 ・能力に応じた個の指導 ・学習カードの改善、表現力を身につける。 保健 ・健康と環境のかかわり方を学ぶ。 (特に自然災害からの身の安全の確保) 体育理論 ・スポーツが心身の発達に与える影響について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性・敏捷性・持久力を高める運動を組み合わせ毎時間5分程度行う。 ・一斉指導を主にしながら種目に応じてグループ学習を行う。その中で個やチームの課題を発見させる。 ・自己評価や相互評価を生かして技能を高める。練習の工夫や改善を指導する。 ・ワークシートや資料の改善。 ・自然災害における行動の仕方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に体力が落ちないように、自主的な運動を促す。 声かけや課題の設定 ・適切なアドバイスを通して 自らの課題を発見する能力を育てる。 ・生徒の能力に応じた指導。 ・自分の心や体の変化に気づかせる。 ・防災訓練の参加を促す。 ・ルールや競技の特性を理解させ、自己の能力や資質を分析できる能力を育てる。
三年	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性・敏捷性・投げる力を向上させる為の効果的な学習方法の構築と反復・継続指導 ・グループ指導や個別学習の発展 ・運動技能、特性を生かした指導とその発展 ・試合の進め方、審判などを通じた知識の定着、実践、応用 保健 ・救急処置を学ぶ 体育理論 ・オリンピック、パラリンピックの文化的意義について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性・敏捷性・投げる力を高める運動を組み合わせ毎時間5分程度行う。 ・2年間の積み重ねを生かしルールやマナーを守り、グループ活動を多く行う。 ・個々やグループに課題を持たせ、自ら解決できるような問いかけやアドバイスを行う。 ・自己評価や相互評価を生かして技能を高める。 ・ワークシートや資料の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 声かけや課題の設定 ・適切なアドバイスから自らの課題を発見し、解決する能力をさらに育てる。 ・生徒の能力に応じた指導。 ・適切な救急処置の理解と実践。 ・国際大会等に精通した方による講演などを通じて、国際社会における自己の関わり方について考える能力を育てる。